

令和6年度 みんなでまちづくり補助金交付実績

施設整備補助（ハード事業）

事業名	内容	団体名	補助額
奥熊野太鼓拠点整備事業	世界遺産に登録されている熊野の魅力を和太鼓を通して全国各地に発信している。 奥熊野太鼓の練習場は建築から30年以上が経過し、屋根や基礎の土台が腐食・老朽化してきており、今後も活動を継続して行うために修繕を図るものです。	奥熊野太鼓	987,000円
小計		1件	987,000円

事業実施補助（ソフト事業）

事業名	内容	団体名	補助額
SHIOGORI CAMP 2024	扇ヶ浜を利用した複合コンテンツイベント「SHIOGORI CAMP 2024」を開催する。キャンプサイト、海・砂浜を使った体験型アクティビティ、音楽LIVE、ワークショップのほか、飲食・物販の出店、PRブースを設ける。	SHIOGORI CAMP実行委員会	500,000円
第2回和歌山梅みかん将棋大会	特産の「梅・みかん」を冠した大会を継続的に開催することにより、地域の活性化と観光資源の創出をはかり、地域や地場産品のブランド価値向上に寄与する。 将棋大会開催で、紀南地方の将棋の普及と振興、並びに青少年の育成を図る。	紀南将棋大会実行委員会	500,000円
第3回 紀南スケートボード・BMX体験交流会	ブロスケートボーダーやプロライダーなどを招致し、扇ヶ浜スケートパークを活用したスケートボードとBMXの競技パフォーマンスと体験会を開催する。 田辺市及び紀南地方にスケートパークの周知と競技の普及を行う。	紀南アーバンスポーツ普及協議会	500,000円
タナベイバー 2024	扇ヶ浜海水浴場を会場に、主に京阪神で活動するアーティストによる音楽イベントとマルシェイベントを開催する。 田辺市や扇ヶ浜のPRのほか、イベントを通じて地域内外の交流をうみ、新たな関係人口の創出をはかる。	タナベイバー実行委員会	500,000円
地域の未来を築く、ユース世代の探求プログラム「START LINE」	ユース世代と地域の企業・産業を結びつける仕掛けと仕組みづくり「高校生の探求プログラムSTART LINE」を実施する。 参画企業に直接訪問し、企業の社内の様子・接客の姿を拝見し、よりリアルに課題解決を考える。	若年層と地域産業の相互理解事業実行委員会	52,000円
熊野古道“紀伊山地の霊場と参詣道”世界遺産登録20周年記念 劇団たなべ座公演「奉納劇 小栗判官ものがたり」	熊野の蘇り物語である「小栗判官」の劇を大斎原にて上演することで、改めて熊野の精神性や風土の素晴らしさを多くの人に認識してもらい、地域振興や文化継承に寄与する。	劇団たなべ座	387,000円
柑橘ソムリエ和歌山講座	田辺市の基幹産業である柑橘の知識を広めるべく、誰もが参加できる柑橘ソムリエ講座を開催し、「柑橘を楽しむことのプロフェッショナル」を育成し、柑橘を通じて市内外の柑橘交流を活性化するまちづくりを目指す。	みかんソサエティ和歌山	8,000円
原田龍二・安倍晴明をめぐる旅	中辺路町から龍神村に至る熊野古道沿いには、安倍晴明にまつわる史跡が点在している。これらの地を俳優の原田龍二が安倍晴明に扮して巡り、紹介する映像を作成する。	紀州発信プロジェクト	500,000円
芳養松原駅伝	駅伝を開催することで、子どもたちの活躍する場所を提供しスポーツに興味を持ってもらうとともに、地域に人を集め活性化をしていく。	芳養松原駅伝実行委員会	500,000円
国際女性デイ	国連で制定されている国際女性デイを周知していく。田辺市で活躍している女性や様々な人を紹介することで、共感する方が活動の場を見つけ、豊かなまちづくりのきっかけにする。	かきくけこのわ	500,000円
ツリバシズム・プロジェクト	ツリバシズムとは、吊橋＋ツーリズム（観光）を掛け合わせた造語である。田辺市は日本で一番吊橋の数が多い自治体だという特徴を活かして、吊橋を軸にした観光という視点から活性化していきたい。	ツリバシズム実行委員会	222,000円
小計		11件	4,169,000円

合計（施設整備＋事業実施）		12件	5,156,000円
---------------	--	-----	------------